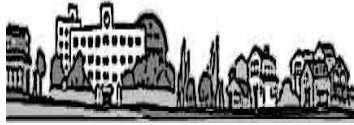




浜ぼうふう

～人，まち，自然が私たちの学校～



太夫浜小学校だより
令和3年6月14日

<http://www.tayuhama-e.city-niigata.ed.jp/>

コミュニティ・スクール（CS）

校長 野瀬 浩司

～今号は，やや堅い話になります～

「コミュニティ・スクール（CS）」とは，保護者や地域のニーズを反映させるために，地域住民が学校運営に参画できるように，「学校運営協議会」を設置した学校のことです。令和4年度からは，新潟市の全ての小・中学校等で，この制度がスタートします。

「学校運営協議会」のメンバー（委員）は，保護者，地域住民，学校支援者，学識経験者，行政機関，学校職員などで構成されます。例えば，PTA会長，自治会長，コミ協会長，民生委員・児童委員，見守り隊の方，ふれあいスクールや学校開放の関係者，大学教授，保育園長，公民館長などが考えられます。

これまで，「学校評議員会」という組織があり，学校の教育活動に対してご意見をいただいております。来年度から移行する「学校運営協議会」では，参考意見を述べるだけでなく，**学校と対等な立場で**，そして，**学校運営の当事者として**，**学校の教育活動の充実と地域の子どもたちの成長に力を発揮していただく**こととなります。

今年度は，「学校運営協議会」への準備の意味もあり，各自治会長からも学校評議員会に出席していただくよう依頼しました。現学校評議員や地域教育コーディネーターからの情報も参考にしながら，主体的に学校運営にかかわっていただける委員を選出し，年度末までには組織を固めます。

新潟市では，「地域とともにある学校」を実現するために必要な学校の姿を，3つ挙げています。まとめの代わりに，紹介します（※は，学校からの補足説明です）。



6年1組 国語の研究授業

①保護者・地域・学校が，学校運営の基本方針を共有している学校

※より分かりやすい教育ビジョンを作成し，学校運営協議会で承認していただきます。

②「社会に開かれた教育課程」を実現している学校

※「学校の授業や体験的な活動等が，よりよい社会を創る」という目標を大切にします。

③「地域総がかり」で子どもの成長を支える体制のある学校

※保護者・地域住民・各種団体などからの積極的な参画と主体的な取組が頼りです。

制度は新しくなっても，子どもたちに身に付けてほしい力を明確にし，それに合った教育活動や方策を全力で実施していくことの大切さは，何も変わりません。